昔 は なこともやっていまし

視覚障害者のための もう一つの広報「声の広報」

本市では、昭和56年から視覚障害者に情報を届けるため、 本紙を音声で聞くことができる「声の広報」を発行してい ます。ここでは、声の広報ができるまでの流れを紹介します。

利用者募集

声の広報の利用者を募集。登録 制で随時受け付けています。電話 で利用方法を説明しますので、詳 しくは問い合わせてください。 申し込み=市政発信課☎027-898-5847 **^**

の作成

「広報まえばし」の 編集が終わった後に、 音訳用に読み上げる原 稿を作成します。漢字

や英文字に読み仮名を振ったり、 表などを分解したりして、音声だ けでも内容が伝わるように編集し 直します。

音訳

研修を受けたボラン ティアが原稿を読み上 げ、録音(音訳)しま す。現在、14人のボラ ンティアが交代で音訳 を担当しています。読

むスピードや発音などにも細心の注意が 必要な作業です。音訳した内容は60分の カセットテープ2本に収録されます。



利用者の





出来上がったカセット テープは郵送で利用者へ 配布。専用のケースでお 届けします。



利用者全員に配布できるように、収録された カセットテープをダビングします。現在6人の ボランティアが活動中。カセットテープの数が 多いので手際の良さが求められます。

印刷設備を紹介します

「広報まえばし」は、市内の印刷会社にあ るA横全判オフセット輪転機で印刷。16ペー ジであれば、1時間あたり約4万8,000部を 刷ることができます。品質基準や温度・湿度 などの環境の変化に応じて、最適な色を自動 調整。記憶・最適化を繰り返して自ら成長す る自己学習機能も搭載されています。



末でご覧ください。



■あとがき

本紙は皆さんに支えられて、昭和25年の発行から 今回で1500号を迎えました。いつもご愛読いただき ありがとうございます。市民と行政を結ぶ最も身近 な情報伝達手段として、皆さんに知っていただきた

い情報を掲載してきました。これからも読みやすい ことはもちろん、手に取って読みたくなるような紙 面づくりに努めていきます。今後も「広報まえばし」 をよろしくお願いします。



昭和25年9月1日掲載

今で言えば、市がウエデ ィングドレスのレンタルを していたなんて驚きです。

クリスマスツリーや門 松を自粛して森林環境保 護ということでしょうか?



昭和 31 年 12 月 15 日掲載

インドから上野動物園 に送られたゾウなどが本 市にも。

――使用期間は三日間

ネズミを捕まえるとキ ャラメルと交換なんて、 今では考えられませんね。



昭和 29 年 11 月 1 日掲載



昭和30年5月1日掲載

INTERVIEW TYPET

本紙について日頃感じていることを聞いてみました。

昭和27年9月1日掲載

理の基本。

下新田町 町田 久仁子さん

絵本の読み聞かせなど、子ど もと一緒に参加できるような講 座の案内を、よく読んでいます。 子育てに関するさまざまな情報 が集約して掲載されているとい いですね。

上泉町 吉田 卓一さん

情報が幅広く掲載されてい るので、より多くの人に読ん でもらえるといいかなと思い ます。市民が参加し、交流し たくなるような紙面づくりを 期待します。

